

## 【埼玉県】防衛医科大学校病院



### 防衛医科大学校病院について

防衛医科大学校は、自衛隊医療・衛生活動、海外派遣や災害医療活動に貢献する優れた自衛隊医官の育成を目的に1973年に開設されました。このような自衛隊衛生活動のみならず、地域住民に開放された総合医療機関として地域医療に貢献することが防衛医科大学校病院の大きな役割であり、地域住民、地域の医療機関から信頼される病院であるよう常に努力しています。



防衛医科大学校病院

### 防衛医科大学校泌尿器科学講座について

防衛医科大学校泌尿器科学講座は、1973年の大学創立とともに開設され、初代中村宏教授から始まり、早川正道教授、浅野友彦教授の築き上げた伝統を引き継ぎ、2018年4月より伊藤敬一が第四代教授を担当しています。伝統的に講座のスタッフと専攻医との距離が近く、経験の豊富なスタッフと緊密に連携しながら臨床教育や研究教育が行われます。多岐にわたる泌尿器科疾患の診療を第一に考えながら、自由な雰囲気の中でバラエティーに富んだ基礎研究が行われているのも特徴です。

### 防衛医科大学校泌尿器科専門研修プログラム

防衛医科大学校では前期臨床研修終了後の2年間は、各自衛隊病院、陸・海・空の部隊、駐屯地・基地・船舶等の医務室などに防衛医官として勤務する必要があります。本来この期間は集中的に臨床医としての実力を養成する重要な時期であるため、連携施設（診療拠点病院及び教育関連施設）の協力を得て、医官勤務と平行して臨床技能の習得が図られます。自衛隊医官は日本全国の様々な職場での勤務があり得るため、北は北海道から南は九州まで全国の病院に連携施設としてご協力を頂いております。臨床症例を数多く経験できる連携施設の協力を得て、自衛隊医官としての業務をしっかりと行いながら、泌尿器科医としての臨床経験も積み重ねていくことになります。そして、専門研修の3年目に大学病院に戻り、泌尿器科レジデントとして沢山の臨床症例を経験します。さらに、症例報告、臨床研究、基礎研究などの学会発表や論文作成など、専攻医の希望を尊重しながら様々な指導が行われます。当講座では、卒後比較的早期に基本的なmajor surgeryを執刀医として担当することができ、surgical urologistとして技能の習得・向上を図っていくことを、教室の大きな特徴としています。

### 当講座の特色について

基本的には、まず general urologistとして、できるだけ広い範囲の泌尿器科診療に対応できる泌尿器科医を育てたいと考えています。その点を踏まえた上で、当講座の診療の特色として、①悪性腫瘍をはじめとする尿路生殖器系疾患の様々な腹腔鏡手術、②泌尿器科悪性腫瘍の集学的治療、③腎癌、前立腺癌、尿路上皮癌、稀少癌の新規薬物治療、④慢性腎不全治療、⑤本邦随一の尿道狭窄症治療、⑥骨盤臓器脱治療、⑦

小径腎癌の焼灼治療、⑧後腹膜肉腫などの泌尿器科高難度手術などを行っています。ロボット支援下手術は未だ導入されていない現状ではありますが、病院として将来的な導入に向けての準備を進めています。今後は泌尿器科医として必須の技術となると考え、連携施設の協力のもと、可能な環境であれば、若手医師にはロボット支援下手術の経験を積んでもらいたいと考えています。研究面については、伝統的な泌尿器科に対する基礎研究を進めつつ、尿道狭窄症治療に関する再生医療の基礎研究も行っています。泌尿器科スタッフ、大学院生などが途切れることなく研究を進めており、各研究の成果を英文誌にコンスタントに発表しています。若手泌尿器科医には、臨床技能の鍛錬を第一に捉えつつ、臨床研究、基礎研究などにも興味をもってもらい、research mindも養ってもらいたいと考えています。

### 当講座の目指すもの

防衛医科大学校の専攻医は、まず第一に自衛隊衛生活動に貢献できる自衛隊医官である必要があります。良い自衛隊医官であるためには、もちろん良い臨床医であることが基本です。泌尿器科医として専門性の高い臨床技能を身につけるのはもちろんですが、総合臨床医としての側面も重要であり、重症患者の全身管理を含めた幅広い能力を身につけてもらいたいと考えています。また、優れた泌尿器科医となるためには、豊富な臨床経験をベースとして、臨床研究、基礎研究などにも触れていき、医師としての視野を広げることも重要と考えます。防衛医大泌尿器科ならではの surgical scientistを育てることを目標としています。そして、「医は仁術」の基本に立ち返り、ベッドサイドを大切に、より良い治療を常に真剣に考え、そして患者さんに優しい医師を育てたいと考えています。

### 診療拠点病院

埼玉医科大学国際医療センター、藤田医科大学病院、東京歯科大学市川総合病院

### 教育関連施設

自衛隊中央病院、国立病院機構西埼玉中央病院、国立病院機構東京病院、東京都医療保険公社多摩北部医療センター、済生会熊本病院、仁徳会病院、古賀病院21、我孫子東邦病院、板橋中央総合病院、恵佑会札幌病院



泌尿器科-放射線科カンファレンス風景



活気あふれる若手泌尿器科医師達